

長い間抗甲状腺薬を飲んでいる方に…
アイソトープ治療をお勧めします。

ばくぜんと不安を抱えていらっしゃる
あなたのために



バセドウ病 アイソトープ治療 Q&A



ある日の甲状腺外来・・・

長い間、抗甲状腺薬で治療を
続けているAさん
よくなったと思ったら、
また再発して・・・
この先どうなるのか？
いろいろ悩む今日このごろです。



患者Aさん：先生こんにちは、今日もよろしくお願いします。

B医師：こんにちはAさん。体調はいかがですか？

Aさん：一進一退、ってところですね。よくなったと思ったら悪くなったりで・・・。

B医師：そうですね、お薬を飲み始めてもう2年ですね。

よくなる人は1年半か2年くらいでよくなるんですけどね。落ち着いたと思ってお薬を減らすと悪くなったり、治ったと思ってやめると再発したりする人も多いですね。



Aさん：やっぱり春先は調子がよくないですね、お薬を増やしてもらわないといけません。

B医師：そうですね。アレルギーの人はバセドウ病が悪くなりやすいということもいわれていますね。

Aさん：かゆみのある赤い発疹が出たこともあるし。

B医師：重い副作用とは別に、かゆみのある赤い発疹は比較的多い副作用なんですね。

Aさん: 家族にも心配かけるし、会社勤めもあって頻繁に通院するのも気を使うんです。

いつまで通院を続けられればいいのでしょうか？

B医師: いつまでとははっきり予測ができません。このままお薬を飲みながら通院を続けていただくことも一つの方法ですが、そろそろ違う治療法も考えてみる時期かもしれませんね。

これまでとは違った治療法を・・・

Aさん: たしか、この治療を始めるとき他にも治療法があると聞きましたが、やっぱり手術しなくてはダメなんではないですか？

B医師: 手術する方法もありますが、もうひとつ「アイソトープ治療」というのがありますよ。

治療法	長 所	短 所
薬物療法	薬を飲むだけでよい。甲状腺機能低下症になっても戻る。	副作用があり得る。治療が長期にわたる。再発が多い。
アイソトープ治療	カプセルを1回飲むだけでよい。薬物療法に比べ短期間の治療ですむ。副作用、合併症がほとんどない。甲状腺の腫れが小さくなる。再発が少ない。	治療を受けられる施設が限られている。甲状腺機能低下症になりやすい。
手術	確実に治療効果が得られる。甲状腺の腫れが小さくなる。再発が少ない。	手術の跡が残る。専門の施設が限られている。甲状腺機能低下症になりやすい。

アイソトープ治療・・・？

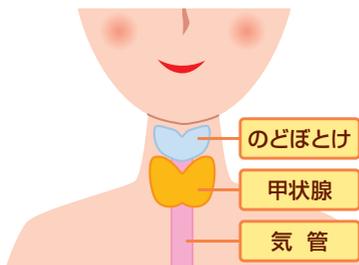
Aさん：「アイソトープ治療」って大きな機械で放射線をあてるんですか？

B医師：いえいえ。「小さなカプセル」を飲んでいただくだけの簡単なものですよ。



Aさん：でも、放射線をつかった治療なんですよね？

B医師：ええ、いわゆる「放射線治療」のひとつですけど、この治療は外からあてるのではなく、体の中から直接甲状腺だけを治療する方法で、内用療法ともいいます。



Aさん：えっ、「中から」ですか？

B医師：ええ、「小さなカプセル」に甲状腺に集まるアイソトープが含まれているんです。入院の必要もなく、普通に外来通院でできるんですよ。

アメリカではたくさんの患者さんが受けています・・・

Aさん：そうなんですか？ でも、『放射線』って聞くとちょっとこわいですが・・・

B医師：心配することはないんですよ。もう60年も前からある治療法なんです。たくさんの方がこの治療法でバセドウ病を克服されているんですよ。実際にアメリカでは抗甲状腺薬よりも「アイソトープ治療」を受けている人のほうが圧倒的に多いんですよ。

Aさん： そうですね。日本でもたくさんの方が受けているんですか？

B医師： 日本の場合は、この治療が出来る病院が少なかったんですね。

ちょっと特殊な設備が必要なのでなかなか広まらなかったんです。

でも、10年ほど前から入院しなくても治療できるようになったので、治療を受ける方が増えています。



副作用の心配はありません・・・

Aさん： でも、副作用で髪が抜けたりとか・・・

B医師： いえいえ、そんなことはまったくありません。カプセルの中のヨウ素(アイソトープ)は病気になっている甲状腺にだけ集まって、甲状腺の働きすぎている細胞を減少させて病気を治してくれるんです。体のほかの部分に集まることはなく、すぐにおしっこ(尿中)に出て行きます。ですからこの治療法は甲状腺以外の臓器には全くといっていいほど影響がないんですよ。

Aさん： 『がん』になりやすくなる、とかもないんですか・・・

B医師： もちろんありません。長い間の経験から、甲状腺がんや他のがんや白血病になる確率が増えるようなことはないことが確認されています。

また抗甲状腺薬にみられるような副作用もありません。

ただし、バセドウ病の目の症状のある方はアイソトープ治療によって悪化することもあるので眼の治療をまず行い、眼の症状が落ち着いた状態でアイソトープ治療を行うことになります。



家族への心配もありません・・・

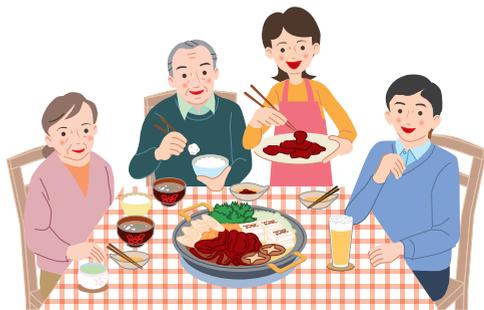
Aさん: 家族に悪い影響があったりしませんか？

B医師: 同居なさっているご家族の健康を損なうようなことはまったくありません。

ただ、あなたの体には「アイソトープ」が入っていますので、すこしだけ気を使っていたく

とがあります。別にお渡しするパンフレットには2,3日から1週間ほどは気をつけていただくことが書かれていますが、あくまでもエチケットとしての行動とを考えていただいて結構です。風邪をひいたらマスクをしますよね、それと同じことと考えてください。

小さいお子さんが同居されていますか？



Aさん: いいえ、子供はまだ・・・。主人の両親が同居していますけど・・・

B医師: 2,3日は小さいお子さんや妊娠している女性と長い時間、直接ふれあわないようお願いしています。会ってはいけないということではないんですよ。「長い時間」、「直接」でなければ心配ありませんから。

若い方でも安心して受けられます・・・

Aさん: 私のように年が若くても大丈夫ですか？

B医師: もちろんです。18歳以下の方については慎重に相談の上としていますが、成人の方には安心して受けていただけます。高齢者の方、重い糖尿病や心臓病の

方については治療法に工夫を加えて安全を図ります。通常は外来で受けられますので、長く仕事を休んだりする必要もありません。
むしろ若くて働き盛りの方ほど受けていただきたい治療です。

病気がよくなれば、妊娠も心配ありません…

Aさん: 病気がよくなったら子供が欲しいと思っているんですけど
・・・子供に影響ないのでしょうか？

B医師: 『放射線』ということでの心配ですが、この治療を受けたあと半年以上経てば妊娠されてもまったく心配はありません。またこの期間は甲状腺の機能がちょっと不安定になる時期ですので、その意味からも少しの間、妊娠は延ばされた方が無難ですね。



効き目はゆっくりですが、確実に…

Aさん: カプセルを飲んだら、すぐよくなるんですか？

B医師: さすがにすぐにというわけには行きません。カプセルを飲んだあと時間をかけてゆっくりと段階的に効いてくるのがこの治療の特徴です。普通は2,3カ月から半年くらいかけてゆっくりとホルモンの値が下がってきます。月に一回程度の割合で治療の効果を見ながら、今までの薬の量を減らしていくことになります。

Aさん: のどの腫れは小さくなりますか？



B医師：この治療では、ほぼ確実にどの腫れが小さくなります。

長い間にとっても大きくなってしまった腫れでも、少しずつ小さくなります。こんな場合は何度かこの治療を繰り返すことになります。

低下症は「治療の効果」と考えて…

Aさん：そういえば、バセドウ病が治っても機能低下症になるって話を聞いたことがあるんですが…

B医師：患者さんの病気の状態に合わせて治療をするんですが、長い経過のうちに甲状腺機能が低下してくる可能性が高いのです。でも、この甲状腺機能低下はアイソトープ治療の効果と考えていただいて、きちんと『甲状腺ホルモン』を補っていけばまったく普通の生活ができます。

Aさん：また、薬を飲み続けるんですか…

B医師：いまお話したように治療の結果、甲状腺からホルモンが十分に出なくなったとき、それを補充する治療です。いまのお薬のような副作用の心配はありませんし、検査もそれほどしなくても大丈夫ですので、通院回数も今よりずっと少なくなりますよ。

Aさん：そうなんですか！

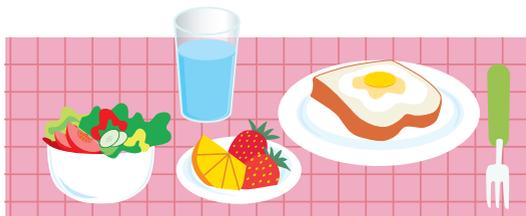


こんなふうに治療します…

Aさん：実際にはどのように治療するんですか…

B医師：カプセルを2～3個くらい飲むだけなのですが、その前にうまくお薬の効果が
出るように2つのことをお願いしています。

Aさん：どんなことですか？
大変なことですか？



B医師：ひとつは、『ヨウ素制限』
ということです。

Aさん：はぁ？ 『ヨウ素制限』…ですか？

B医師：いやいや難しいことではないんです。

カプセルを飲む日をはさんで1週間ほど、毎日のお食事に少しだけ気をつけて
いただければ良いのですよ。

具体的には昆布などの海草類や昆布だしを取らないようにすることです。海
藻にはたくさん『ヨウ素』が入っていて、これがせっかく飲んだアイソトープの
効果を妨げてしまいます。

*詳しいことは別のパンフレットにありますので、目を通しておいください。
わからないことは遠慮なくお尋ねくださいね。

Aさん：はい。

B医師：もうひとつは、いま飲んでおられる『抗甲状腺薬(メルカゾールなど)』を一時的に、
中止して頂きます。

これも『ヨウ素制限』と同じように、アイソトープの効果を最大限にするための
工夫なんですよ。

Aさん：お薬をやめても大丈夫なんですか？

B医師：もちろんお薬を止めると多かれ少なかれ甲状腺機能亢進の症状が出てきます。
その時のAさんの病状を見てなるべく短期間にしますが、必要であれば症状を
和らげる別のお薬をお出ししますのでご安心下さい。

なるべく安静にしてお過ごしくださいませ大丈夫でしょう。

その後の通院は・・・

Aさん：それで・・・カプセルを飲んだあとの通院はいままでどおりなんですか？

B医師：そうですね、カプセルを飲んでいただいたあと3,4カ月は月1回、甲状腺機能の変化を診させていただきます。その後は徐々に間隔をあけていきます。機能が正常になれば、半年から1年に1回の経過観察でよいでしょう。先ほどお話したように、甲状腺機能低下に移ってしまえばお薬を『甲状腺ホルモン薬(チラーヂンSなど)』に変えます。

Aさん：その時はどうなりますか？

B医師：お薬が『甲状腺ホルモン薬』にかわって飲む量が決めれば、副作用の心配もないですし、3カ月分もしくは半年分のお薬をお出しできますので、その間は通院の必要はなくなりますね。
もちろん何かあればご来院くださいね。

Aさん：はい。『アイソトープ治療』が随分いい治療法だということがわかりました。家族とも話しをしてみて、決めようと思います。

B医師：そうですね、お食事とかお子さんのこととか、ご家族のご協力が必要なこともありますので、よく話し合ってみてください。もしご家族の方がご心配なことがあれば、次回と一緒に来院くださればご説明しましょうね。

Aさん：はい。今日はありがとうございました。

B医師：はい、どうぞお大事に。

あっ、パンフレットを忘れないで持って帰ってくださいね。



いまのお薬での治療を続けるか、
新しくアイソトープ治療をするか、
よく相談してみてください。



わからないことは、
学会認定専門医にご遠慮なくお尋ねください。

日本甲状腺学会ホームページ：<http://www.japanthyroid.jp/>

日本甲状腺学会認定専門医名簿：<http://www.japanthyroid.jp/public/specialist/map.html>

この冊子は「バセドウ病治療ガイドライン2011」に準拠して
日本甲状腺学会「バセドウ病¹³¹I内用療法の手引き」作成委員会にて編集されました。

「バセドウ病¹³¹I内用療法の手引き」作成委員会 (50音順、*委員長)

内村 英正	鎮目記念クリニック
岡本 泰之	すみれクリニック
上條 桂一	上條甲状腺クリニック
小西 淳二*	杉田玄白記念公立小浜病院
田尻 淳一	田尻クリニック
中駄 邦博	北光記念病院
中村 浩淑	隈病院
野口 靖志	野口病院
浜田 昇	すみれ病院
深田 修司	田尻クリニック
御前 隆	天理よろづ相談所病院
吉村 弘	伊藤病院

ばくぜんと不安を抱えていらっしゃるあなたのために

バセドウ病 アイソトープ治療 Q&A

2011年9月1日 発行

編集：日本甲状腺学会「バセドウ病¹³¹I内用療法の手引き」作成委員会

発行：日本甲状腺学会